

このたび、第 67 回日本卵子学会学術集会の開催にあたり、下記のとおり演題募集を開始いたしましたので、ご案内申し上げます。

日頃のご研究・ご臨床の成果をご発表いただく貴重な機会として、ぜひ多数のご応募を賜りますようお願い申し上げます。

本学術集会では、演題発表者の先生方を対象とした特別企画も鋭意検討しております。具体的には、新規技術である CAPA-IVM に関するハンズオン、ならびに PGT-A に関する無料のハンズオンを、抽選により若干名を対象として実施予定です。その際、演題発表者であることも選考において考慮する予定としておりますので、ぜひ積極的な演題登録をご検討ください。

現在予定している主なプログラムは以下のとおりです。

- ・若山照彦教授 特別講演 「宇宙と卵子」
- ・CAPA-IVM の基礎と臨床 (Dr. Smitz 来日予定)
- ・再生医療と卵子・卵巣 (PRP、脂肪由来幹細胞、PFC-FD 等に関わる基礎と臨床応用)
- ・亜鉛と卵子をめぐる最新トピック
- ・胚培養士資格制度の現状と課題 (制度設計・行政上の論点を中立的に概観します)
- ・厚労科研研究共催「凍結検体の保管体制の手引き」
- ・ランチョンセミナー、モーニングセミナー、アフタヌーンセミナー
- ・CAPA-IVM ハンズオン（並行開催）
- ・PGT-A ハンズオン（並行開催）

さらに、胚培養士による、胚培養士のためのセッションとして、

- ・胚培養士の疑問に答える

学会員の皆様から募集したご質問をもとに、配偶子・胚の操作を伴うオプション医療 (IMSI、PICSI、PGT、AH、SEET、ZyMot、IVM、タイムラプス等) におけるコツや Quality Control について、ベテラン胚培養士が解説します。

- ・胚培養士のキャリアを考える

など、実践的かつ双方向性の高い企画を多数準備しております。

また、本学術集会はオンデマンド配信も行いますが、現地参加ならではの楽しみも重視しております。

- ・開催地「小江戸・川越」は近年注目を集める観光地であり、金曜日の前乗りもお勧めです。
- ・情報交換会では、イチローズモルト、コエドビール、クラフトジン、地酒など、各種飲み物をご用意予定です。
- ・日曜日早朝には、川越早朝ウォーキングも企画しております。
- ・その他もろもろ

先生方のご施設における日々の実践や工夫が、本学会を通じて共有されることは、我が国の生殖に関わる学術・技術・実装のさらなる発展につながるものと確信しております。

ぜひ多くの先生方、ならびにご施設からの演題登録を心よりお待ち申し上げております。

第 67 回日本卵子学会学術集会

集会長 高井 泰

(埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 教授・運営責任者)